

財団法人茨城県中小企業振興公社

[法人の概要]

平成22年7月1日現在

| | | | | |
|-----------|--|------------|--|------------|
| 代表者名 | 理事長 上月 良祐(非常勤) | 県所管部課 | 商工労働部産業政策課 | |
| 所在地 | 水戸市桜川2-2-35茨城県産業会館9階 | 電話番号 | 029-224-5317 | |
| ホームページURL | http://www.iis-net.or.jp/ | E-mailアドレス | info@iis-net.or.jp | |
| 資本金(基本財産) | 35,000 | 千円 | 設立年月日 | 昭和43年7月17日 |
| 主な出資者 | 出資順位 | 出資者名 | 出資額(千円) | 出資比率 |
| | 1 | 茨城県 | 35,000 | 100.0% |
| | 2 | | | |
| | 3 | | | |
| | 4 | | | |
| | 5 | | | |
| その他 | | | | |
| 設立目的 | 本県産業の中核である中小企業の経営の近代化及び技術の高度化を促進し、もって中小企業の振興を図り、本県産業の発展に寄与するため、公益法人として茨城県の全額出資により設立。 | | | |

[事業の概要]

(単位:千円)

| 事業名 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 内 容 | |
|-------|------------------|-----------|-----------|---------|---|
| 事業1 | 設備資金貸付事業 | 722,835 | 659,369 | 474,108 | 小規模企業者等が創業及び経営基盤強化に必要な設備を導入する場合、必要な資金の2分の1以内を無利子で貸し付けます。また、貸付時には、申請企業の貸付妥当性等の診断を行うとともに、貸付後にも事後助言を行うなど継続的な支援を行います。 |
| | 全体事業に占める割合 | 62.0% | 63.3% | 55.7% | |
| 事業2 | 新事業支援事業 | 113,073 | 120,707 | 122,260 | 総合相談窓口「ベンチャープラザ」において経営、金融など各分野の専門家を配置し、創業予定者、ベンチャー企業などの相談に対応します。また、地域資源活用や農商工連携による新商品開発等の新たな取り組みに対して支援を行います。 |
| | 全体事業に占める割合 | 9.7% | 11.6% | 14.4% | |
| 事業3 | 情報化・国際化・人材育成支援事業 | 125,210 | 88,740 | 85,876 | 当公社ホームページやメールマガジン、情報誌を通じて経営に役立つ各種情報を提供します。また、高速・大容量のデータ通信を可能にする「IBBN」の産業利用促進や中小企業の海外展開を支援するための貿易相談やセミナー等を開催しています。 |
| | 全体事業に占める割合 | 10.7% | 8.5% | 10.1% | |
| その他事業 | 事業1～3以外 | 204,784 | 172,061 | 168,195 | 仕事の受注・発注企業を紹介する斡旋事業や、受注・発注企業の出会いの場となる各種商談会を開催して、受注機会の創出を図ります。また、いばらき産業大県創造基金の運用益により、新商品開発等の取り組みに対して費用の一部を助成します。 |
| | 全体事業に占める割合 | 17.6% | 16.5% | 19.8% | |
| 全体事業 | | 1,165,902 | 1,040,877 | 850,439 | 指定管理者 |
| | 全体割合 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |

< 財団法人茨城県中小企業振興公社 から県民のみなさまへ >

当公社は、中小企業の振興を図り、本県産業の発展に寄与するために県の全額出資により設立された公益法人です。このため、国や県の重要施策の一部を分担し、地域産業の中核を成す中小企業等への受発注取引の斡旋、設備資金の無利子貸付、創業や新分野進出等への総合的な支援、新商品・新技術開発取組への助成など、各種支援事業を継続的に実施しているところです。

また、今年度は、新たに県内6つの支援機関が連携して、中小企業が持つ地域資源活用や農商工連携といった課題解決のため、専門家の派遣や窓口相談等を行いました。さらに、公益法人制度改革に対応するため、新法人への移行に向けて必要な事前準備を進めてまいりました。

今後とも、国や県、各支援機関との緊密な連携のもと、中小企業のニーズに即した事業を計画的かつ効率的に実施するとともに、公益法人としてコンプライアンス経営の実践に努め、より幅広く、より質の高い中小企業支援に努めてまいります。

平成23年2月 理事長 上月 良祐

[経営状況] 財団法人茨城県中小企業振興公社 (単位:千円)

| 区分 | | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 増減数 | 増減理由 |
|-----------|------------------------|-----------|------------|------------|-------------|----------------|
| 正味財産増減計算書 | 一般正味財産増加額 | 584,435 | 558,217 | 442,161 | 116,056 | |
| | 経常収益 | 584,435 | 558,217 | 442,161 | 116,056 | |
| | 基本財産運用益 | 426 | 493 | 436 | 57 | |
| | 事業収益 | 94,027 | 46,013 | 25,514 | 20,499 | 設備貸与事業収入の減 |
| | 受取補助金等 | 357,003 | 373,043 | 349,277 | 23,766 | 産業大県フェア事業の未実施等 |
| | その他収益 | 132,979 | 138,668 | 66,934 | 71,734 | 基金運用益を指定正味へ変更 |
| | 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 一般正味財産減少額 | 590,502 | 504,767 | 437,568 | 67,199 | |
| | 経常費用 | 590,502 | 504,767 | 437,568 | 67,199 | |
| | 事業費 | 589,689 | 503,965 | 436,780 | 67,185 | 設備貸与費用・事務費減 |
| | 管理費 | 813 | 802 | 788 | 14 | |
| | うち役員人件費 | 10,127 | 10,098 | 9,310 | 788 | |
| | うち職員人件費 | 203,155 | 172,127 | 172,559 | 432 | |
| | 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般正味財産増減額 | 6,067 | 53,450 | 4,593 | 48,857 | | |
| 指定正味財産増加額 | 0 | 0 | 110,373 | 110,373 | 大県基金の運用益を計上 | |
| 指定正味財産減少額 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 110,373 | 110,373 | | |
| 正味財産期末残高 | 48,891 | 102,341 | 217,308 | 114,967 | | |
| 貸借対照表 | 資産合計 | 6,015,135 | 12,227,839 | 11,748,943 | 478,896 | |
| | 流動資産 | 895,839 | 1,003,558 | 952,645 | 50,913 | 設備貸与債権の減 |
| | 固定資産 | 5,119,296 | 11,224,281 | 10,796,298 | 427,983 | 有価証券の満期償還 |
| | 負債合計 | 5,966,244 | 12,125,498 | 11,531,635 | 593,863 | |
| | 流動負債 | 148,317 | 114,645 | 52,892 | 61,753 | 未払金・未払費用の減 |
| | うち短期借入金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 固定負債 | 5,817,927 | 12,010,853 | 11,478,743 | 532,110 | 商業基金5億円を県へ返還 |
| | うち長期借入金 | 2,674,506 | 2,874,449 | 2,847,021 | 27,428 | 借入額より返済額が増 |
| 正味財産合計 | 48,891 | 102,341 | 217,308 | 114,967 | | |
| 基本財産充当額 | 35,000 | 35,000 | 35,000 | 0 | | |
| 県財政関与状況 | 補助金 | 336,633 | 347,329 | 306,811 | 40,518 | 産業大県フェア事業の未実施等 |
| | 委託料 | 18,077 | 15,974 | 25,928 | 9,954 | 販路開拓事業等を新規受託 |
| | 貸付金 | 700,000 | 636,570 | 454,590 | 181,980 | 企業への貸付実績減 |
| | その他(分担金・負担金・出捐金等) | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 合計 | 1,054,710 | 999,873 | 787,329 | 212,544 | |
| | 財政的関与の割合(%) | 37.13% | 35.64% | 31.58% | 4.1 | |
| | 損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末) | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 借入金残高(期末) | 2,674,506 | 2,874,449 | 2,847,021 | 27,428 | 借入額より返済額が増 | |
| 合計 | 2,674,506 | 2,874,449 | 2,847,021 | 27,428 | | |

| 主要経営指標 | 算式 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 増減P | 備考 |
|--------|-------------------|--------|--------|---------|-------|---------------|
| 収益事業比率 | 収益事業費 / 当期支出合計 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0 | |
| 管理費比率 | 管理費 / 当期支出合計 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0 | |
| 人件費比率 | 人件費 / 事業活動支出 | 18.3% | 17.5% | 21.4% | 3.9 | |
| 自己収入比率 | 自己収入 / 事業活動収入 | 62.8% | 64.3% | 68.4% | 4.1 | |
| 流動比率 | 流動資産 / 流動負債 | 604.0% | 875.4% | 1801.1% | 925.8 | 未払金等の減で流動負債が減 |
| 借入金比率 | 借入金残高 / 負債・正味財産合計 | 44.5% | 23.5% | 24.2% | 0.7 | |

[組織]

| 7月1日現在の人数 | | 平成20年 | | | 平成21年 | | | 平成22年 | | | 増減数 | 増減理由 |
|-------------|----------|-------|-----|-----|-------|-----|------|-------|-------|--------------|----------------|----------|
| | | 県派遣 | 県OB | | 県派遣 | 県OB | | 県派遣 | 県OB | | | |
| 役員 | 常勤理事・監事 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | |
| | 非常勤理事・監事 | 10 | 2 | 1 | 10 | 2 | 1 | 10 | 2 | 1 | 0 | |
| | 計 | 11 | 2 | 2 | 11 | 2 | 2 | 11 | 2 | 2 | 0 | |
| 職員 | 管理職 | 17 | 7 | 0 | 17 | 7 | 0 | 16 | 6 | 0 | 1 | 県派遣職員1名減 |
| | 一般職 | 9 | 1 | 0 | 9 | 1 | 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | |
| | 嘱託・臨時職員等 | 8 | | | 8 | | | 8 | | | 0 | |
| | 計 | 34 | 8 | 0 | 34 | 8 | 0 | 33 | 7 | 0 | 1 | |
| 当期常勤職員の年齢構成 | | ~20代 | 30代 | 40代 | 50代~ | 合計 | 平均年齢 | | | プロパー職員平均勤続年数 | | |
| | | 3 | 9 | 8 | 5 | 25 | 41.7 | 歳 | 16.3年 | | | |
| | | | | | | | | | | | プロパー職員平均給与(年額) | |
| | | | | | | | | | | | 5,732.1千円 | |

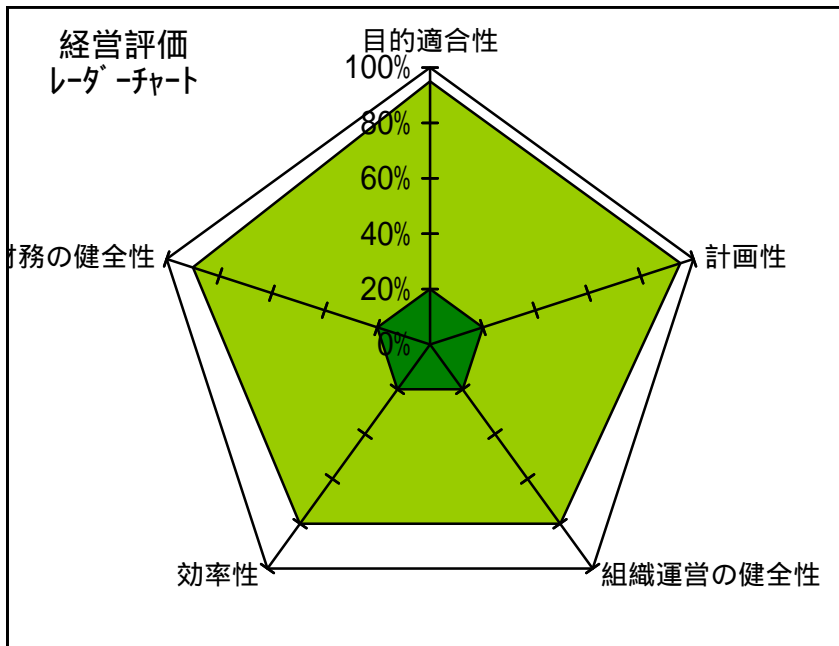
[評点集計]

| 評価の視点 | 評価項目数 | 評点 | 満点 | 得点率 |
|---------|-------|----|-----|-------|
| 目的適合性 | 11 | 19 | 20 | 95.0% |
| 計画性 | 8 | 19 | 20 | 95.0% |
| 組織運営健全性 | 9 | 16 | 20 | 80.0% |
| 効率性 | 11 | 16 | 20 | 80.0% |
| 財務健全性 | 10 | 18 | 20 | 90.0% |
| 合計 | 49 | 88 | 100 | 88.0% |

警戒指標

《評価の視点》

| | |
|---------|---|
| 目的適合性 | 法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか |
| 計画性 | 経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか |
| 組織運営健全性 | 組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か |
| 効率性 | 組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか |
| 財務健全性 | 法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか |



[法人の自己評価 (経営概況 , 経営上の課題・対策等)]

| 目的適合性 | 計画性 | 組織運営健全性 | 効率性 | 財務健全性 |
|---|---|--|--|--|
| <p>当社は、産業の中核である中小企業の振興を図り、本県産業の発展に寄与するために県の全額出資により設立された公益法人です。現在においても「茨城産業活性化に関する指針」など県が策定した施策方針に基づき、県と一体的に競争力あふれる「産業大県づくり」を目指し、各種公益事業を実施しています。</p> | <p>毎年度基本方針を含む事業計画を策定しています。また、県施策の方向性に歩調を合わせた中期計画(推進期間H20～24年度)を策定しており、これらの計画に沿って事業を実施しています。事業計画の策定に当たっては、出来る限りアンケートや訪問調査等を行い、中小企業の満足度やニーズの把握に努めています。</p> | <p>組織運営が適正に行われるため、業務規程の整備や監事監査を実施するとともに、経理業務について公認会計士の指導を受けています。さらに、各種研修による職員の能力開発・人材育成を実施しています。この他、法人情報をオープンにするため、寄附行為や事業計画、財務諸表等をホームページで公開しています。</p> | <p>業務の効率性は、経費節減による事業費・管理費の抑制や物品購入における競争入札の実施、基本財産等の効果的運用による事業費確保などに努めています。また、県借入金は法令に基づき中小企業への設備資金の貸付原資として借り入れたものであり、中小企業への貸付実績の増加に伴い県借入金も増加しています。</p> | <p>事業の執行については、県と協議の上、一体となって実施しているため、収支の均衡は保たれており、財務の健全性に問題は無いと考えます。今後においても、更なる経費節減を図りながら、効率的かつ効果的な事業実施に努めてまいります。</p> |
| <p>今後の事業展開の方向</p> | <p>当社は、中小企業の振興を図り、本県産業の発展に寄与するために県の全額出資により設立された公益法人です。 今後の事業展開として、より時代のニーズや中小企業のニーズに即した事業を計画的に進めるため平成20年度から5カ年を展望して策定した中期計画に基づき、県や各支援機関と緊密な連携を図りながら、産業大県づくりの一翼を担い、より幅広く、より質の高い中小企業支援を目指し、各種事業を実施してまいります。 特に、平成22年度は、県内の支援機関で構成するコンソーシアムにより、農商工連携等の課題に対し専門家派遣や窓口相談を行うなど、中小企業等の支援に努めてまいります。また、公益法人制度改革に対応するため、移行に向けて必要な作業の実施及び関係者間のコンセンサス形成を図ってまいります。</p> | | | |

[法人担当課の意見]

| 目的適合性 | 計画性 | 組織運営健全性 | 効率性 | 財務健全性 |
|--|--|--|---|--|
| <p>公社は本県中小企業の中核的支援機関として各種事業を展開している。県商工行政の推進において、公社は県と補完関係にあり、本県産業の発展に寄与するという目的に合致した事業を実施している。</p> | <p>目標値を設定した中期計画（20～24年度）に基づき、計画的に事業実施している点が評価できる。今後は毎年ととも、目標達成に向け、各項目の進捗管理を実施していくことが求められる。</p> | <p>各種規程により内部統制が図られているほか、会計士との契約により、会計・経理業務及び財務状況を定期的にチェックする等、健全性を保つための機能が適正に働いている。</p> | <p>事業量が増加する中で、事務分担変更の対応により平成22年度からは職員数を1名減（県からの派遣職員1名減）するなど、効率的に事業を実施している点が評価できる。</p> | <p>県施策の実施機関という公社の性格上、収支の均衡に大きな変動はなく、財務の健全性は保たれている。今後も引き続き、経費節減に向けた取り組みの徹底に期待したい。</p> |
| <p>法人担当課の意見</p> <p>・中期計画に基づき計画的に事業を実施するとともに、国からの受託事業である「中小企業応援センター事業」を実施するなど、県内中小企業支援のための積極的な事業展開を評価したい。</p> <p>・公社には、経済情勢に即応した実効性のある事業を効率的かつ効果的に展開していくことが求められる。国や県、各支援機関との連携のもと、公社の総合的支援機能を発揮した中小企業支援を期待する。</p> | | | | |

[経営目標]

| 区分 | 指 標 名 | 単位 | H19実績 | H20実績 | H21 目標値 | H21実績 | 達成度(%) | H22目標値 | |
|---------|-------|---------------|-------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|
| 経営目標 | 事業成果 | 1 ホムペーヅアクセス件数 | 件 | 101,939 | 109,182 | 89,661 | 114,591 | 100.0% | 108,571 |
| | | 2 設備資金貸付件数 | 件 | 48 | 49 | 46 | 29 | 63.0% | 42 |
| | 健全性 | 1 自己資本比率 | % | 0.8 | 0.8 | 0.1 | 1.8 | 100.0% | 0.1 |
| | | 2 流動比率 | % | 604 | 875 | 100 | 1,801 | 100.0% | 100 |
| | 効率性 | 1 正味財産額 | 千円 | 48,891 | 102,341 | 35,000 | 217,308 | 100.0% | 35,000 |
| | | 2 | | | | | | | |
| 平均目標達成度 | | | | | | | 92.6% | | |

[総合評価]

| 取組みを強化すべき視点 | 目的適合性 | 計画性 | 組織運営健全性 | 効率性 | 財務健全性 |
|-------------|--|-----|---------|-----|-------|
| 総合的所見等 | <p>概ね良好 改善の余地あり 改善措置が必要 緊急の改善措置が必要</p> | | | | |
| | <p>いばらき産業大県創造基金事業は、国庫金60億円を含め、75億円の基金を設定して実施している事業である。しかしながら、執行が複数年度にわたるといった特殊性はあるが必ずしも高い執行率となっていない。制度の利用条件、広報活動等の見直しを適時適切に実施し、事業の効果的実施に努められたい。改善を図ることが困難な場合には、県及び国への基金返還も含め同基金による実施事業のあり方を検討すべきである。</p> <p>効率的な事業遂行と人件費を含む経費の削減に努めるとともに、最高裁決定により神戸市派遣職員の給与相当額を補助金で支出することが違法であるとの大阪高裁判決が確定したことから、県とともに事業規模や自立的体制のあり方についての抜本的な見直しが必要である。</p> <p>新公益法人等への移行申請手続きを計画的に進められたい。</p> | | | | |
| 総合的所見等に係る対応 | <p>いばらき産業大県創造基金事業は、平成21年度は国の臨時的な類似事業との関係等から執行率が低迷したものの、事業開始から3年目を迎え執行率は高まっており、平成22年度は過年度繰越予算も含め予算枠ほぼ満額の交付決定を見込んでいる。今後とも、更なる事業の効果的実施に努めるよう指導していく。</p> <p>また、公社の事業量が増加する中、平成22年度は県派遣職員を1名減するなど、効率的な事業遂行及び経費削減を行ったが、神戸市派遣職員に係る判決を受け、公社への県派遣職員の抜本的な削減など、自立的体制のあり方について見直しを進める。</p> <p>新公益法人への移行については、準備委員会による検討作業を進めており、平成23年度中の移行申請を目標としている。</p> | | | | |